

越後の都 上越市



村上

新発田

高田藩の領地
松平忠輝時代

※村上氏(村上)、溝口氏(新発田)は与力大名

雪月花の城下町 高田

今からおよそ1300年前、国府がおかれた上越市は、越後国（新潟県）の政治・経済・文化・軍事の中心としての役割を担いました。

以来、越後国府の歴史と伝統は、上杉謙信公の越後府中と春日山城、豊臣秀吉の重臣、堀氏の福島城へと受け継がれ、さらに徳川幕府が天下普請で築き、家康の六男、松平忠輝公を城主に据えた高田城に結実しました。

徳川の城ともいえる高田城は、図に示したように、越後一国と長野県北部を領地とする高田藩の中核で、石高は、60万石（一説に75万石）を誇る全国でも屈指の雄藩でした。

城下町には町家や雁木、寺町などの街並みが整えられ、江戸時代後期に『北越雪譜』を著した鈴木牧之は、高田を「ここは北越随一の市会なり。商工軒をならべ百物備ざることなし」とその繁栄ぶりを紹介しています。400有余年の歴史を持ち、四季折々のロマンあふれる「雪月花の城下町」高田は、訪れる人にその魅力を語り続けています。

高田の歴史

| 西暦 | 出来事 |
|------|---------------------------|
| 1614 | 松平忠輝 福島城を廃し、高田城に移る |
| 1616 | 酒井家次 高田城主となる |
| 1618 | 松平忠昌 高田城主となる |
| 1624 | 松平光長 高田城主となる |
| 1665 | 高田地震が起きる |
| 1679 | 越後騒動が起こる |
| 1685 | 稲葉正通 高田城主となる |
| 1701 | 戸田忠真 高田城主となる |
| 1710 | 松平定重 高田城主となる |
| 1741 | 榊原政永 高田城主となる |
| 1861 | 榊原政敬 高田城主となる(最後の高田藩主) |
| 1868 | 北越戊辰戦争 高田藩は新政府軍として戦う |
| 1871 | 廃藩置県により高田藩を高田県とし、後に柏崎県となる |
| 1873 | 柏崎県が新潟県に合併される |
| 1908 | 陸軍第13師団が入城 |
| 1909 | 高田城跡に2200本の桜が植樹される |
| 1911 | レルヒ少佐によるスキー指導 高田市が誕生 |
| 1913 | 高田開府300年祭 |
| 1926 | 第1回観桜会開催 |
| 1964 | 高田開府350年祭 |
| 1971 | 高田市と直江津市の合併で上越市が誕生 |
| 1993 | 三重櫓を復元 |
| 2002 | 極楽橋を木橋として復元 |
| 2005 | 14市町村の合併で新「上越市」が誕生 |
| 2014 | 高田開府400年祭 |
| 2018 | 歴史博物館開館 |
| 2020 | 高田公園が高田城址公園に名称変更 |